

■【トピックス】

祝！創業20周年！



2001年9月11日、あの日から世界は変わりました。そんな中、私は当時勤めていた監査法人を退職して独立開業しました。当時は世界がどのように変わっていくのか？ただただ不安だけしかありませんでした。

あれから20年、皆様のご支援により、幾多の波を乗り越えて今日に至っています。今、現在はコロナ禍にあります。これからも前を向いて歩いていきたいと思えます。

■【今月のキーワード】

国外転出時課税制度

国外転出時課税制度とは、国外転出（国内に住所及び居所を有しないこととなること）をする一定の居住者が1億円以上の有価証券等、未決済信用取引等又は未決済デリバティブ取引（対象資産）を所有等している場合には、国外転出時に、その対象資産について譲渡又は決済があったものとみなして、対象資産の含み益に所得税が課税される制度です。対象資産については、含み益があるかどうかにかかわらず、全ての対象資産の価額の合計額が1億円以上となるかで判定されます。

■【ビジネス・アイ】

国外転出時課税制度！

- 社長 「東京オリンピックも終わったけど、コロナはなかなか収束しないね」
- 花野 「そうですね。ただ収束を見越してワクチンサポートの活用が検討されていますね」
- 社長 「そうだね。国内だけでなく海外との往来も元通りにならないと最終的に経済も回復しないよね」
- 花野 「おっしゃる通りですね。大企業では海外拠点への着任や日本への帰任が計画通りに進まなくて困っているみたいですね」
- 社長 「海外赴任といえば、前に話してくれた出国税が掛かるっていうのもあるよね」
- 花野 「そうなんです。1億円以上の有価証券等を保有している人が対象なんです。従業員でもベンチャー企業だとストックオプションを行使したりして対象になる人が意外にいるんですよ」
- 社長 「そうなんだ。有価証券を1億円以上持っているなんて、企業のオーナーだけかと思っていたけど案外いるんだね」
- 社長 「会社の株なら誰がどれだけ持っているか分かるけど、プライベートで上場会社の株式なんかを相続していたら分からないね」
- 花野 「そうなんです。従業員のプライバシーにも関わるので会社では把握しきれないですね」
- 社長 「中小企業の非上場の株式ももしかしたら対象になるのかな？それだと対象者も多いと思うんだけどね」
- 花野 「それが対象になるんですよ」

■【今月の1冊】

『メスを超える』

杉本真樹 著

東洋経済新報社 ¥1600

ITの進化が止まりません。コロナ禍の中、多くの職場でリモート化が進んでいます。今ではオンライン会議も当たり前です。

そんなITですが、医療業界においても積極的に取り入れられています。VR（仮想現実）やAI（人工知能）を活用した遠隔医療の実現が目前に迫っています。それを推し進める革新者がこの本の著者です。



■【編集後記】

20年前に独立した時には9.11が起きて、正直独立のタイミングを誤ったかもしれないと不安になりましたが、なんとか20年間生き残ることができました。これまで出合ったすべての人に感謝したいと思います。これからも頑張ります。

『経営のセカンド・オピニオン』 vol.175(毎月1日発行)

●定価：2400円/年 ●発行日：2021.10.1 ●発行人：花野康成

●編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦マルエムビル5F

TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808